

## 「霞が関合同庁舎3号館屋上庭園」の概要

整備目的：既存建築物への屋上緑化技術の適用検討と屋上緑化の効果の検証

面積：約500㎡

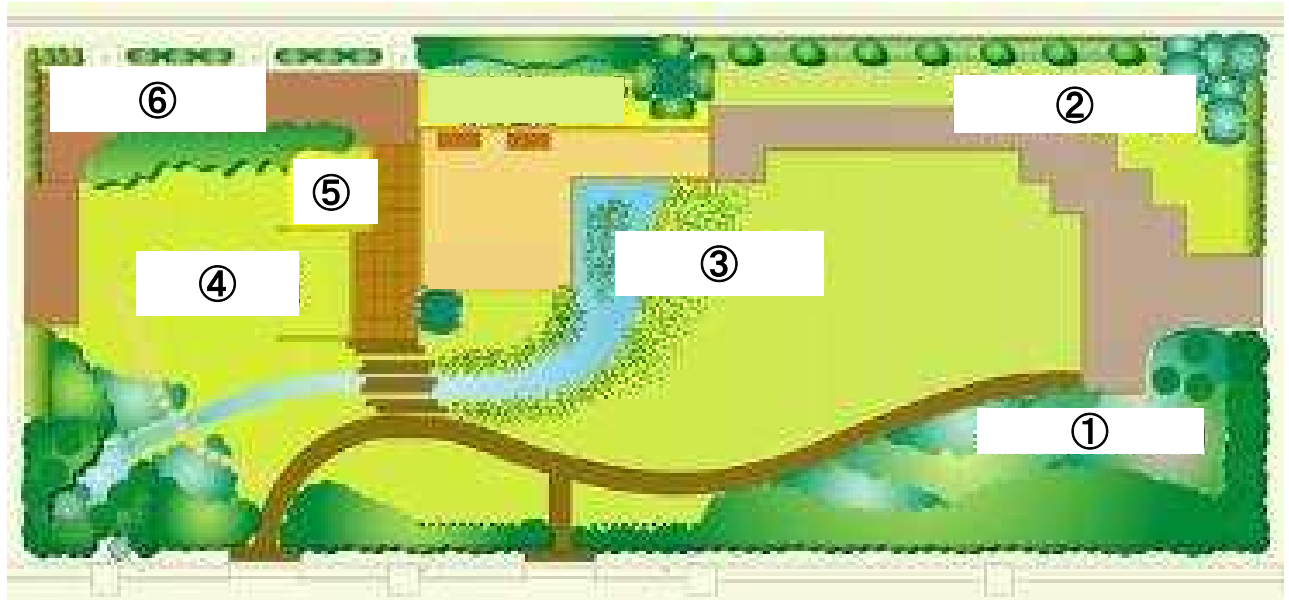
※屋上緑化の効果の検証対象としていないエリアが、別途約1,200㎡あります。

内容：

- 中高木 約 50本  
(エゴノキ、ソヨゴ、ゲッケイジュ等)
- 低木 約220㎡  
(ツツジ類、ボックスウッド、ローズマリー等)
- 地被類 約250㎡ (セダム類等)
- 芝生類 約730㎡
- 池・流れ 約 40㎡  
(空調機器からの排水や雨水も活用)
- その他園路等 約460㎡



### <主要施設>



- ①：地形に変化を与えるため軽量土壌による盛り土を施工したエリア
- ②：施工省力化のための芝生パレットや植栽コンテナを用いた緑化エリア
- ③：空調機器からの排水や雨水を利用した池・流れエリア
- ④：植物の生育状況と熱環境調査のため土壌の厚さを変えたエリア
- ⑤：薄い土壌での生育状況調査のためのセダム（多肉植物）による緑化エリア
- ⑥：既存建築物へ園路・広場を造成するため、軽量の再生材を用いて施工したエリア



中高木から地被類まで、多様な植栽の生育状況や昆虫・鳥類の調査を行っています。

H28調査では植物68種、昆虫80種、鳥類5種が確認されました。

※左の写真はクロスジギンヤンマ羽化の瞬間を撮影したもの

屋上庭園の特徴を解説板で紹介しています。